

井川義貴さん(環境科学専攻・博士前期課程2年)が第73回セメント技術大会で優秀講演者賞を受賞しました

2019年5月8日から5月10日に、ホテルメトロポリタン(東京都豊島区)で行われた第73回セメント技術大会において、大学院自然科学研究科環境科学専攻社会基盤・建築学コースに所属する博士前期課程2年の井川義貴さんの研究発表が優秀講演者賞を受賞しました。

発表者：井川義貴(新潟大学大学院自然科学研究科博士前期課程2年)

指導教員：斎藤 豪 准教授、佐伯 竜彦 教授

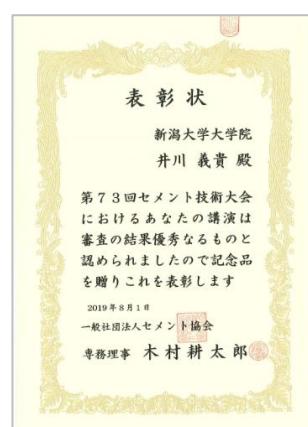
発表題目：錯体重合法によるC-S-Hの合成と高比表面積 β -C₂Sの作製およびその水和性状に関する検討

概要：再生利用可能なセメントの実現に向け、高活性 β -C₂Sとその水和により生成する高C/S比の非晶質C-S-Hに関して検討している。本稿では、既報で示された高活性 β -C₂Sが従来と異なる水和性状を示し、かつ非常に高い比表面積を持つ点に着目し、錯体重合法によりC-S-H重合体を作製して、その焼成により原子レベルの均一性と高比表面積を有する β -C₂Sの合成を行い、水和性状を評価した。その結果、出発C/S比を1.5としても焼成により高比表面積の β -C₂Sが生成し、その水和によりCHを伴わずに高C/S比の非晶質C-S-Hが生成したことで、コンクリートにおける再生システムの可能性を示した。また条件によっては、ほぼ単相で高比表面積の β -C₂Sが生成し、水和後は高C/S比の非晶質C-S-Hのみが生成した。

URL: <http://www.jcassoc.or.jp/cement/1jpn/ji1a.html>



第73回セメント技術大会ポスター



優秀講演者賞 表彰状